

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 5 号）の送付について

このことについて、つぎのとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願いたします。

記

- 1 情報の内容 トビイロウンカの予察灯における大量誘殺の確認
- 2 対象作物 水稲
- 3 現在の状況
 - (1) 愛南町における予察灯の誘殺数は 7 月第 2 半旬に 85 頭、第 3 半旬に 25 頭であり、平年に比べて極めて多くなっている（表）。過去 10 年の半旬別誘殺数では、愛南町における平成 18 年 7 月第 1 半旬の 14 頭が最大値となっている。
 - (2) 平成 26 年 7 月 17 日発表の 1 か月予報（7 月 19 日～8 月 18 日）では、四国地方の気温は平年並～高い、降水量は平年並と予想されており、ほ場内の増殖にはやや助長的である。
- 4 今後の注意と防除対策
 - (1) 本虫は、地域やほ場間だけではなく、ほ場内でも発生の変りがあることに留意しながら発生状況の把握に努める。要防除密度は 7 月末～8 月初めの短翅型雌成虫数 20～30 頭/100 株、8 月下旬～9 月上旬の成虫数 30 頭/10 株である。この寄生密度に達すると 9 月中旬以降に坪枯れ被害を生じる恐れがある。
 - (2) 出穂期防除、仕上げ防除等の基幹防除を徹底する。
 - (3) 本虫は株元に生息するので、薬剤が株元まで十分かかるようにする。防除に当たっては、農薬使用基準を遵守する。また、風向き等に注意し周辺作物への飛散防止を念頭に置き、周辺環境（魚・蚕・ミツバチなど）への配慮を怠らない。

表 予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数

月	半旬	西条市		松山市		松前町		久万高原町		西予市		愛南町	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6	1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	4	0	0.0	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.3	0	0.9
	5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.1
	6	0	0.6	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.1	0	0.1
7	1	0	0.2	0	0.8	0	0.1	0	0.0	0	0.1	0	1.8
	2	0	0.1	0	1.0	0	0.0	0	0.6	0	0.0	85	1.2
	3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.6	0	0.1	25	0.0

誘引光源：白熱電球、平年：H16～25年の平均値。